

厳しい気候と頻発する災害を抱える東北アジアでは、交通の途絶による地域の孤立が大きな問題となっています。人口減少や過疎化、自治体の財政逼迫は、この問題への新たな対応を迫っています。

今年の公開講演会では、凍結河川を利用できない夏期の東シベリア、海の交通が台風などにより途絶する沖縄の離島、東日本大震災の際の給油の困難化といった問題を取りあげ、地域における途絶と孤立について考えます。

東北大学東北アジア研究センター公開講演会

# 途絶する交通、 孤立する地域 ～人と地域の対応

## 講演

藤原潤子 (総合地球環境学研究所)

「途絶化するシベリアの村：社会変化と環境変化」

植田今日子 (東北学院大学教養学部)

「橋が架かったシマの再離島化 —沖縄県今帰仁村古宇利島の事例—」

奥村 誠 (東北大学東北アジア研究センター)

「東日本大震災後のガソリン途絶への対応行動」

## コメント

神谷 大介 (琉球大学工学部)

「討議：沖縄県離島の台風時の交通途絶の事例を踏まえて」

申込不要  
入場無料

2011年12月3日(土) 14:30～17:00 (開場14:00)

会場 仙台市戦災復興記念館

仙台市青葉区大町二丁目12番1号  
〔仙台市営バス「東北公済病院・戦災復興記念館前」で下車〕

主催／東北大学東北アジア研究センター (<http://www.cneas.tohoku.ac.jp>)

共催／東北アジア学術交流懇話会

お問い合わせ／東北アジア研究センター事務局 (022-795-6009)



東北大学